

令和6年度 羽曳野市立埴生幼稚園学力向上推進計画

中学校区がめざす子ども像

『志のあるこども』

自ら目的意識をもち、何にでも取り組む子ども
正しい人権意識をもって物事を判断し、行動できる子ども

重点研究テーマ

「聴く力の育成」

「考える力の育成」

「表現する力の育成」

子どもが幸福感をもち、現在を最も良く生き、
望ましい未来を作り出す力の基礎を培うために

目標

心豊かですこやかに
力いっぱい遊ぶ子どもの育成

課題に向けて

- ◎仲間づくりとして、人の話を聞き、相手のことを理解することから始めよう
- ◎遊びの中の学びとして、出あったものに気づき、知ろうとするようになろう
- ◎地域との共生として、地域のことがらにふれ、変化に気づき、対応できるようになろう

幼小連携の再開

- ・埴生学園との交流や研修等を通じて架け橋期の教育の重要性を学園の先生方と共有する

幼児教育の重要性を社会と共有

- ・地域の方にもっと幼稚園教育を知ってもらおう（遊びに招待したり、様子を見に来ていただく）

学力向上のための園方針

- ★幼児期にふさわしい生活の展開
- ★一人ひとりの発達の特性に応じた指導
- ★遊びを通した総合的な指導

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

- ・健康な体と心 ・自立心 ・共同性 ・道徳性 ・規範意識の芽生え
- ・社会生活との関わり ・思考力の芽生え ・自然との関わり ・生命尊重
- ・数量や図形、標識や文字への関心・感覚 ・言葉による伝え合い ・豊かな感性と表現

学力向上のための具体的取り組み

「聴く力の育成」

- ・話の内容を理解する
- ・相手の気持ちを感じとることができる
- ・興味をもって聴くことができる

「表現する力の育成」

- ・生活の中で美しいものや心を動かす出来事にふれ、イメージを豊かにする
- ・感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ
- ・語彙力が豊かになるよう、教師は正しい言葉を使い、たくさんの会話を交わす

「考え・話す力の育成」

- ・自分の考えを人に伝える
- ・相手の気持ちを考えて話す
- ・適切な言葉を使って話す

めざす園児像

- ・気づきのある子ども(興味・関心・人権意識)
- ・しっかり聴けて、はっきり言える子ども(表現・言語・意思)
- ・最後までやり遂げ、挑戦する子ども(意欲・努力・根気)
- ・正しく見て、考えられる子ども(公正・判断力・思考力)
- ・好きな人、好きなものがある子ども(愛着・感性)

令和6年度の研究テーマ

幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

家庭教育との連続性から

- ・子どもとともに生活する中で、子どもの興味・関心を高め、意欲を引き出し、学びにつなげた具体的な姿を保護者に伝え、共有していく
- ・「遊び」を「学び」につなげるために、日々の保育の中から見だし、可視化して保護者に伝える
- ・保護者に幼稚園教育の理解を図る→遊びの連続性やつながりの表を配布し、遊びを通しての学びを大切にもらえるようにする。
- ・絵本の貸し出し実施→親子で絵本に親しみをもち、絆を深める
- ・大人の絵本・本コーナー設置『はについーるーむ』の継続